

# 水抜き方法について

①パイプシャフト内（共用廊下にあります）

※建物により形状が異なります。



写真左側のコックが給水栓（バルブ式もあります）  
※固着等している場合がありますので、怪我及び破損しないようご注意ください。

写真右側のコックが水抜き栓  
（配管の残り水を抜くための栓）

パイプシャフト内での作業の流れ

1.給水栓を閉める→2.水抜き栓を開ける

2の際、水が勢いよく出て排水受皿から溢れる場合がありますので、ゆっくり開けて下さい

②浴室



③洗面化粧台



④台所



⑧トイレ



⑤洗濯用蛇口



⑥洗面化粧台・台所の下



⑦給湯器



※水抜き栓を開けた際、水が出てきますのでバケツなどで受け止めてください。勢いよく水が出てくる場合もありますので、勢いが小さくなるまで、小ねじは最後まで取り外さないようにしてください。水がこぼれた場合は、速やかに拭き取ってください。

※管理会社に水抜きを依頼される場合、下記料金がかかります（税別）

営業時間内：3,000円～ 営業時間外：5,000円～12,000円

時間・曜日等により金額が異なります。また、仕様・状況によってはガス供給会社に依頼していただく必要があります。（別途料金発生）

※水道凍結により水道管が破裂した場合、ご自身のお部屋だけではなく他の入居者様にも多大な損害を与えることになります。火災保険への加入は不明な場合、お早めに管理会社までお問合せください。

※給水バルブを開けたままにして水抜き栓を開けた場合、水が流れ続ける場合があります。

## 水抜き手順

※給湯器凍結防止の為、ブレーカーは下げないで下さい。

- ①の給水栓コックを90度回し（=閉める）、水抜きコックを水抜と書いてある方へ上げる（=開ける）。水抜きコックを上げる（開ける）と配管内の水が下部の排水受皿に流れていきますので、**ゆっくり**上げて（開けて）下さい。（バルブ式の場合は時計回りで止水となります）
- ②③④⑤⑥⑦の蛇口及び水抜き栓（小ネジ含む）を開けて水を出してください。洗濯用蛇口はネジが固いため、プライヤーなどの工具が必要になる場合があります。⑧はトイレタンクの水が無くなるまで、レバーを回し続けてください。
- 一通り水抜きが終わったら、②～⑦の蛇口及び水抜き栓（小ネジ含む）を閉めて、⑧のレバーを戻して下さい。

## 給水手順

室内の蛇口、水抜き栓が閉まっていることを確認した後、パイプシャフト内の水抜き栓を給水と書いてある方へ下げて（=閉めて）から、**ゆっくり**給水栓を90度回し（=開けて）ください。